

式 辞

貫井中生と地域や保護者の方々と一緒に植えた「お花美化😊プロジェクト」のチューリップやビオラが、皆さんの入学を祝うように花開いています。まさに、春の到来に躍動感を感じる季節です。本日は、ご多用の中、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、第64回入学式を挙げていくことに、高い席からではございますが、心より御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ただ今、先生方の呼名に元気よく返事をし、起立した皆さんは、伝統ある貫井中学校の生徒となりました。教職員一同、皆さんの入学を心よりお祝いし、歓迎いたします。一方で、今の皆さんは、期待と不安が入り混じった気持ちでこの場にいることでしょう。ですが、その気持ちは自然なものです。これから、毎日生活をする中で少しずつ、安心に代わっていきますから、大丈夫です。

入学にあたり、本日は、本校の教育目標にちなんだ話をしたいと思います。貫井中学校には、生徒が3年間で身につけてほしい姿として、

「よく考える人 思いやりのある人 実践する人」

という教育目標があります。この目標は、校内のいたるところに掲げられており、代々の卒業した先輩たちも、そして新入生の皆さんの後ろに座っている先輩たちも、大切にしている価値観です。そして今年度、学校は、「実践する人」を重点に据えて教育活動を進めていきます。

「よく考える人」とは、たとえば、授業で出された問いに対して「なぜそうなるのか」「本当にそうだろうか」と自分の頭で考え、根拠を確かめ、仲間と意見を交わしながら理解を深めていく姿です。授業で、自分なりの目標を決めたり、他者の意見から新しい視点を得たり、わからないところをそのままにせず、調べたり、先生に質問してみる、そんな日々の積み重ねが考える力を育てます。

「思いやりのある人」とは、多様な仲間とともに生活する中で、相手の立場を想像し、互いを尊重し合う姿勢です。たとえば、朝のあいさつを自分から伝えること、困っている友だちに気づいたら声をかけること、話し合いで相手の意見を最後まで聞くこと。そうしたふるまいが、学校全体の空気を温かくしていきます。

そして今年度の重点である「実践する人」。実践とは、「自分で決めて動くこと」、「考えたことを行動に移すこと」です。しかし実践は、一度きりの行動ではありません。行動することを継続したり、他とのつながりを意識して動くことが大切です。たとえば、授業で「今日は発言してみよう」と決めて手を挙げる。その一歩が自信につながり、「もっと勉強を続けてみよう」という意欲が生まれます。委員会や係活動で、「やってみます」と決めて実行する。その役割を果たす中で、「次は、このように改善したい」という視点が生まれ、周囲の行動も変わっていきます。あなた一人の行動が、周りの人の勇気を生み、クラスの空気を変え、学校全体を動かしていく。実践とは、そうした、良い“波紋”をつくる力でもあります。

これからの3年間は、皆さんが「将来にわたって、どのように生きていきたいか」を形づくる大切な時期です。どうか、考えを深め、他者を尊重し、自ら行動する力を育ててください。皆さんの隣には、同じ目標をもつ仲間がいます。そして皆さんを導き、見守る先輩や、教職員がいつも支えてくれます。自信をもって、一歩を踏み出してください。一度しかない、貴重な輝く中学生時代を、大切に過ごしていきましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子さまのご入学、誠におめでとうございます。中学校の3年間は、身体の成長だけでなく、ものの見方や考え方も広がり、知識も深まってより行動的になっていきます。将来に向けた、進路選択もしていきます。これまで同様、お子様のよき相談相手となって、時には背中を強く推して、成長を支えていただきますようお願いいたします。私どもは、保護者の皆様と連携し合って、教育活動を充実させてまいりたいと思っております。

結びに、入学生の皆さんの活躍と、ここにお集まりの全ての皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、式辞いたします。

令和8年4月8日
練馬区立貫井中学校長 佐藤明子